

平成23年2月三木市教育委員会（定例会）会議録

◇ 日 時

- 1 開 会 平成23年2月16日（水）午後2時00分
- 2 閉 会 平成23年2月16日（水）午後5時10分

◇ 場 所 三木市役所 5階 大会議室

◇ 会 議

- 1 開 会
- 2 会議録署名委員の指名
- 3 前回会議録の承認
- 4 審議事項
議案第28号 平成23年度三木市教育の基本方針の策定について
議案第29号 三木市教育委員会顕彰規則に基づく被顕彰者の決定について
議案第30号 平成23年度三木市立学校長及び教頭の人事異動内申について
- 5 その他
- 6 閉 会

◇ 会議に出席した者の職氏名

教育委員	1番	教 育 委 員 長	里 見	俊 實
	2番	教育委員長職務代行者	水 島	慶 子
	3番	教 育 委 員	稻 見	秀 穂
	4番	教 育 委 員	井 口	徹
	5番	教育委員（教育長）	松 本	明 紀
事務局		教 育 部 長	篠 原	政 次
		教育部政策主幹	告 野	幹 也
		教育総務課長	清 水	正 則
		教育環境整備課長	井 上	博 務
		学校教育課長	穂 積	正 則
		文化スポーツ振興課長	松 村	正 和
		教育センター所長	梶 本	佳 照

図 書 館 長
教育総務課課長補佐
教 育 総 務 課

近 藤 昌 樹
稲 岡 孝
西未路 雅 恵

傍 聴 者 0 人

◇ 会議内容

1 開 会

里見委員長が、平成23年2月三木市教育委員会定例会の開会を宣言した。

2 会議録署名委員の指名

里見委員長が、本日の会議の会議録署名委員に、井口委員と松本教育長を指名した。

3 前回会議録の承認

里見委員長が、平成23年1月定例会の会議録の承認について諮り、全員一致で承認された。

4 審議事項

里見委員長が、開催告示後に議案第30号「平成23年度三木市立学校長及び教頭の人事異動内申について」を追加した旨を報告した。

また、議案第29号は被表彰者の決定に関する議案であること、議案第30号は人事に関する議案であることから、それぞれ三木市教育委員会会議規則第7条第1項ただし書きの規定により、秘密会として日程の最後に審議することについて諮り、同意された。

【議案第28号】平成23年度三木市教育の基本方針の策定について

○ 穂積学校教育課長が、次のように説明した。

平成23年度三木市教育の基本方針の編集に際して、①平成22年度の基本方針の内容を継承しつつ、新たな教育課題に対応したものとする。②県の「指導の重点」の主旨を尊重しつつ、三木市としての地域性及び独自性を打ち出すものとする。③見やすい、わかりやすい、使いやすいも

のとするという3点を編集方針とした。

表紙には、三木市出身のイラストライターのこゆり様のイラストを採用した。この表紙にも、ぶどうや三木まつり、三木金物、酒米山田錦と清酒、神戸電鉄など三木市の特産物等が描かれている。

基本方針の内容については、メインテーマ、サブテーマは前年同様「大志躍動」、「心豊かに元気よく」をそれぞれ継承することとし、一人一人が夢や志を持ち、心豊かに元気良く躍動する教育の実現をめざし、様々な施策を展開することとしている。

このテーマの下に「心豊かな人づくり」、「元気な人づくり」、「学び続ける人づくり」の3つの教育目標を設定し、更に、これら教育目標の下に、重点目標として「一人一人を大切に作る心の教育・学び」、「安全・安心な信頼される学校園づくり」、「人と人のつながりを大切に作る生涯学習」を位置づけている。

これらの重点目標は、平成22年度の方針では、重点取組として4点をあげていたが、そのうちの「教職員の資質と実践的指導力の向上」を信頼される学校園づくりにつながる取組と位置づけ、「安全・安心な信頼される学校園づくり」の中に包含した。

更に、これら3つの重点目標を達成するために32の実践項目を定め、各論部分ではそれら実践項目に対する具体的な取組を記述した。

これらの取組はいずれも重要なものばかりであるが、新年度は、①「基礎・基本の確実な定着と主体的に学ぶ学習指導の充実」として、児童生徒主体の体験的・問題解決的な学習や言語活動の充実による思考力、判断力、表現力の育成をはじめ、②「道徳の時間を要とする道徳教育の充実」、③「教育の専門家としての確かな力量の向上」、④「生涯学習基盤の充実」等に特に重点を置きたいと考えている。

編集上の新たな特徴として、「三木市不登校総合対策推進事業」や「小中連携三木モデル」を分かりやすく図示している。

その他、資料編として、新学習指導要領改訂のポイントとそれに伴う評価の在り方、兵庫県教育基本計画「ひょうご教育創造プラン」、学びを支え高めあう「はばタン・モデル」のほか、「三木市文化振興ビジョン」、「スポーツ振興ビジョン」の概要、更には、昨年3月に制定された「三木市非核平和都市宣言」、教育相談窓口等を掲載している。

(委員) 家庭の教育力の向上の部分で、子どもたちが保護者の愛情を実感できるような取組が盛り込めれば更に良いと思った。

具体的には、子どもの役割、簡単な掃除などでも良いので、それをすることで自分の存在が認識できて、それを家族から評価され、そこから愛されている実感が得られるような取組を示唆できれば良いと思う。

自分は今、お父さん、お母さんに愛されているということを子どもたちが実感できる家庭教育が大切であるといった部分が記述できて、更に、子どもたちが一番最初に接する社会が家庭であり、その次が地域へとつながっていく広がりのあるものがあれば尚良いと思う。

(委員) 同感である。今の時代において、大事なところだと思う。

親の役割などは書かれているが、一方で子どもにも役割はあろう。そうしたことが読み取れる部分があれば良いと思う。

(事務局) 家庭教育力の向上の部分で、親子のふれあいを通じた愛情、信頼感の醸成にふれたつもりであるが、言葉足らずであったかもしれない。

(委員) 何かちょっとしたヒントになるものが、この部分にあれば良いなと思いながら読んだ。

(事務局) 生涯学習の部分は補助執行との関係で、既に12月

定例会で協議いただき一定の方向を決定いただいたので、変更には市民協働課との調整が必要になる。

調整ができれば、盛り込みたい。万が一調整が整わない場合は、平成24年度の基本方針に、家庭における手伝いの大切さや愛情のある親子のふれあいの啓発をめざした家庭教育の研修会などPTAと連携した学習機会の充実などとして記述したいと思うが、その取扱いに関しては、事務局に御一任いただけないか。

(委員) 表紙などのイラストの上に文字が重なることは好ましくないと感じている。

(事務局) 御意見の趣旨は十分理解できる。この件についても、どのように処理するか御一任願いたい。

(委員) 11頁の中段に反復の訳語としてスパイラルと括弧書きされているが、適切ではないと思う。

(事務局) 出典を確認したうえで、処理させていただきたい。

(委員) このたびの教育の基本方針は非常に良くできている。ただ、スポーツ振興ビジョン、文化振興ビジョンの推進に関する取組が書かれていない。どこに入れるかは難しいかもしれないが、これらのビジョンは、行政だけでなく市民も、企業も、団体も一緒になって進めていこうとするものであるのでどこかで記述があってしかるべきと考える。

(事務局) 確かに、ジュニアゴルフ塾やスポーツクラブ21への支援等を事業として記載しているが、取組目標の見出しとしては使えていない。

(委員) 総論の中に入れる方法もあろう。

(事務局) そのようにさせていただく。

里見委員長が、議案第28号について、審議の中で各委員から出された意見等に基づき所要の修正を行うこと、また、その修正については教育長に一任することについて採決を行い、全員一致で可決された。

5 その他

(1) 協議事項

里見委員長が、協議事項12「『歴史・美術の杜』構想づくりと『図書館の活性化』について」は、意思決定過程の案件であることから、秘密会により、日程の最後に協議することを諮り、全員一致で同意された。

(2) 報告事項

ア 学校教育課の主要行事等について

○ 穂積学校教育課長が次のように報告した。

第11回定例校園長会を2月15日に開催し、平成23年度教職員人事異動状況及び学校関係者評価書の提出とホームページへの掲載等について情報提供、周知、依頼を行った。

主要行事等については、吉川中学校森正仁教諭の実践発表とテアトル三木の人権朗読劇を併催して第6回同和教育伝承講座を2月14日に実施した。

その他、中学校全8校のスキー実習、私立高校入試、公立高校推薦入試が終了した。

今後の予定として、卒業（園）式が、幼稚園3月18日、小学校3月23日、中学校3月11日、特別支援学校3月17日の日程で執り行われるほか、公立高校一般入試が3月14日、終業式が3月24日に実施される。

イ 教育センター・青少年センターの主要行事等について

○ 梶本教育センター所長が次のように報告した。

三木市CGアートコンテストの表彰式を2月12日に実施した。入賞作品を市役所3階ロビーに、全作品を教育センターロビーに展示している。

また、適応教室に通級する中学3年生8人の入試面接練

習を2回実施した。これにより、子どもたちは試験当日面接官の質問に落ち着いて答えることができた。

今後の予定については、教育センターの研究員発表会を2月25日に開催し、今年度の教育センター研究員が6グループに分かれて研究成果を発表する。それぞれのグループが取り組んできた研究部門は教育の情報化、教育課程、生徒指導、教科教育、道徳指導等である。

ウ 文化スポーツ振興課の主要行事等について

○ 松村文化スポーツ振興課長が次のように報告した。

事業実施状況については、三木市学校園造形展を1月14日から24日まで、かじやの里メッセみきで開催した。出品数は約1,100点、来場者は、2,460人であった。

また、文化振興基金を活用して、こどもたちの芸術鑑賞事業として開催した劇団四季こころの劇場ファミリーミュージカル「エルコスの祈り」には、小学校6年生710人と無料招待した幼稚園児とその保護者222人の参加があった。

第57回三木市展については、1月27日から30日まで、かじやの里メッセみきで実施した。日本画、洋画、書、写真、彫塑工芸の5部門に308点の応募があり、入賞42点に対して、30日に表彰式を行った。来場者数は、1,906人であった。

なお、学校園造形展と三木市展は、今年度からかじやの里メッセみきへ会場を移しての開催であり、市展では応募点数が昨年度より41点増加するとともに、来場者についても629人増えた。広い会場を使用したため、展示作品数も増やすことができた。

今後の予定については、三木市スポーツ賞表彰式を2月26日に教育センターで開催する。

(委員) 学校園造形展、三木市展で出品数や来場者数が増加したということであるが、その理由は把握できているか。

(事務局) 来場された方々からは、会場が国道沿いであって、車で行き易いといった声が聞かれた。

また、出品数が増加したのは、三木市展の開催時期がこれまでと比べて遅くなり、近隣自治体の中では一番最後になったため、他市の展覧会に出展できなかつた方々が三木市展に出展されたのではないかということが要因の1つとして想像される。

(3) 次回定例教育委員会の開催日時について

里見委員長が、次回の定例教育委員会の開催予定日時について諮り、平成23年3月16日(水曜日)、午後2時から開催することを決定した。

6 審議事項及び協議事項(秘密会)

【議案第29号】三木市教育委員会顕彰規則に基づく被顕彰者の決定について

○ 清水教育総務課長が、次のように説明した。

教育委員会顕彰基準で定める年数又は金額を超える功績を収められた方や寄附をされた個人、団体に感謝状又は表彰状を贈呈しようとするものであり、対象者は、51人・団体である。

内訳は、教育振興のために寄附をされた個人又は団体4人・団体、退任薬剤師3人、退任人権教育指導員1人、学校医・歯科医19人、公民館の講座・サークル等の指導を通じて社会教育の振興・発展に貢献された方5人、スポーツ団体の役員等として体育・スポーツの普及に貢献された方19人である。

議案第29号は、三木市教育委員会会議規則第7条第1項ただし書きの規定により秘密会として審議したため、同規則第32条の規定により、審議内容については記載しない。

里見委員長が、議案第29号について採決を行い、全員一致で原案のとおり可決された。

【協議事項 1 2】 「歴史・美術の杜」 構想づくりと「図書館の活性化」 について

- 松村文化スポーツ振興課長が、資料内容について説明し、併せて、当該資料を今後設置する歴史・美術の杜構想検討委員会及び第2次図書館活性化構想検討委員会で検討いただくための素案等として提示していきたいと説明した。

協議事項 1 2 は、三木市教育委員会会議規則第 7 条第 1 項ただし書きの規定により秘密会として協議したため、同規則第 3 2 条の規定により、内容については記載しない。

今後の施策推進のために、当原案を歴史・美術の杜構想検討委員会及び第2次図書館活性化構想検討委員会並びに市民等に対して提示することについて了解された。

なお、協議の過程で、委員から、教育センター機能の分散や公共交通の利便性を勘案した図書館の立地については、慎重に取り扱うべきであるとの意見が出された。

【議案第 3 0 号】 平成 2 3 年度三木市立学校長及び教頭の人事異動内申について

当議案の審議に当たり、関係部課長以外は退席した。

- 穂積学校教育課長が、議案の内容について説明した。

議案第 3 0 号は、三木市教育委員会会議規則第 7 条第 1 項ただし書きの規定により秘密会として審議したため、同規則第 3 2 条の規定により、内容については記載しない。

里見委員長が、議案第 3 0 号について採決を行い、全員一致で原案のとおり可決された。

7 閉 会

里見委員長が、平成23年2月三木市教育委員会定例会の閉会を宣言した。